## 安全のために必ずお守りください。

**⚠ 警告**

- 乗車前に車輪が固定されていることを確認してください。転倒して大怪我をすることがあります。
- 乗車前にはスポークの折れ、ゆるみ、リム面のへこみ、キズ割れがないかどうか車輪を点検し、これらの症状がある場合は使用しないでください。
- 車輪はクロスカントリー用に設計されています。ダウンヒル用に使用されると車輪の変形、あるいは破損により転倒の恐れがあります。
- クイックレリーズの使用方法を誤りますと車輪の脱落等により重傷を負うことがあります。クイックレリーズの取扱い説明書を十分にお読みください。
- 車輪はディスクブレーキ専用車輪です。リムブレーキには対応しません。
- ディスクブレーキの取扱い説明書も十分にお読みください。
- **製品を取付ける際は、必ず取扱い説明書等に示している指示を守ってください。**その際、シマノ純正部品の使用をお勧めします。またボルトやナット等が緩んだり、破損しますと突然に転倒して重傷を負う場合があります。
- 取扱い説明書はよくお読みになった後、大切に保管してください。

**⚠ 注意**

- リムテープは使用しないでください。タイヤの脱着が困難になり、その際タイヤチューブを傷つけることがあり、突然のパンクによる転倒などの恐れがあります。

**注意**

- シマノ製純正のスポーク、ナット、プラグ、ワッシャーを使用してください。リム、ハブ体を破損する恐れがあります。
- 空気圧は、200kPa/29psi～400kPa/58psiの範囲で使用してください。
- スポークテンション調整の場合はプラグを締め過ぎないようご注意ください。締めすぎると、リムが破損する恐れがありますので、慎重に作業してください。（認定店に調整を依頼されることをお勧めします）
- 一般的なアルカリ性パンク修理剤は、リムが腐食してエアー漏れを起こす可能性があるので使用をお勧めできません。

### 使用上の注意

- 車輪の回転が重たくなった場合はグリスアップを行ってください。
- ハブの内部には注油は行わないでください。グリスが流れ出します。
- 別売品の専用スポークレンチがあります。
- 初期ブレが出た場合か、使用開始から1,000Km走行を目安に認定店でのスポークテンション調整をお勧めいたします。
- リムの継ぎ目に塗られているエアシール剤が剥がれますので洗浄液や薬品等を使用して車輪を拭かないでください。
- リムのステッカーが剥がれますので洗浄液や薬品等を使用して車輪を拭かないでください。
- 別売りリフレクターがございます。自転車専門店にご相談ください。

| モデルナンバー | 規格 | 色 |
|---|---|---|
| RR-550-WUW SW W/O BRACKET | JIS / CPSC | 白 |
| RR-550-WUA SW W/O BRACKET | AS | アンバー |
| RR-317-WUA SW W/O BRACKET | DIN | アンバー |

- 別売りスポークプロテクターがございます。自転車専門店にご相談ください。

| | |
|---|---|
| CP-WH14 | CS-M970 |
| CP-WH15 | CS-M770 |

- 通常の使用において自然に生じた摩耗および品質の劣化は保証いたしません。

# ご使用方法

SI-4EZ0A-001

**WH-MT65**　車　輪

機能を充分に発揮させるために、次のラインナップによる使用を推奨いたします。

| | | |
|---|---|---|
| リア最大ギア | | 34T |
| ローター | センターロック仕様 | SM-RT64 / 78 / 79 / 97 |
| | 6ボルト仕様 | SM-RT61 / 75 |

## 仕様

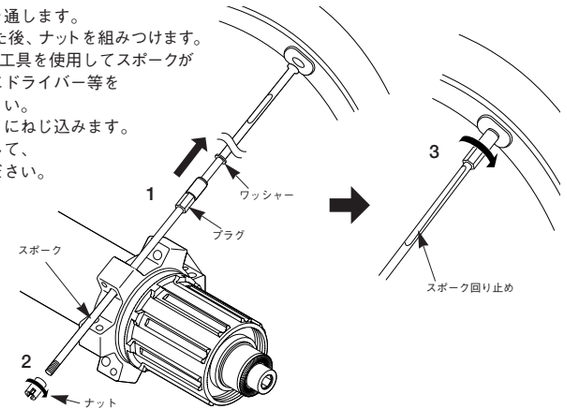
| | |
|---|---|
| モデルナンバー | WH-MT65 |
| 段数 | 9 |
| スポーク数 | 24 |
| リム幅 | 23.3 mm |
| リムサイズ | 26” |
| 対応タイヤサイズ | 26 × 1.5 ～ 2.25 |
| 対応ブレーキ | ディスクブレーキ |

## スポークの交換

1. スポークに、ワッシャー、プラグを通します。
2. ハブフランジの穴にスポークを通した後、ナットを組みつけます。組みつける時にはスポーク回り止め工具を使用してスポークが回らないように固定しナットの溝にドライバー等を使用してナットをねじ込んでください。
3. プラグをリム側のねじ穴へ時計回りにねじ込みます。このときスポーク回り止めを使用して、スポークが回らないようにしてください。

ご注意：

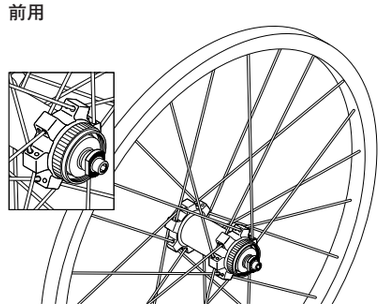
- ワッシャーを忘れるとスポークテンションの調整ができなくなりますので必ずワッシャーを入れてください。
- ナットはねじ山の最後まで締め込んでください。



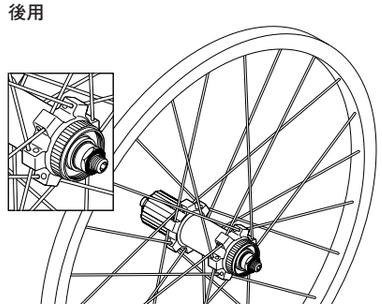

## スポークの編み方

図のように編んでください。

前用



後用

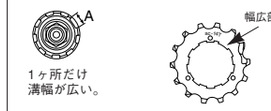


| スポークテンション値 | | | |
|---|---|---|---|
| 前用 | | 後用 | |
| 右側 | 左側 | 右（ギア）側 | 左側 |
| 600 - 1000 N (60 - 100 kgf) | 900 - 1350 N (90 - 135 kgf) | 900 - 1350 N (90 - 135 kgf) | 600 - 1000 N (60 - 100 kgf) |

※ この数値は目安です。

## HGギアの取付け

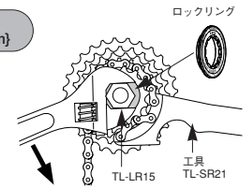
各ギアとも刻印のある面をトップ側にし、フリーホイール部のA部（溝幅が広いところ）とギアの凸部の広いところをあわせてセットしてください。

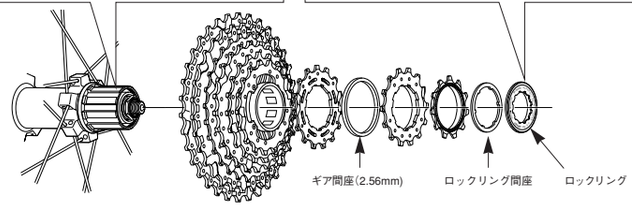



- HGギアの取付けは専用工具（TL-LR15）でロックリングを締め付けます。

締め付けトルク：
30 - 50 N·m {300 - 500 kgf·cm}

- HGギアの交換は、専用工具（TL-LR15）とTL-SR21でロックリングを取り外します。



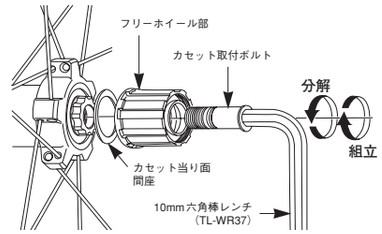




## フリーホイール部の交換

ハブ軸を抜き取った後、フリーホイール部内のカセット取付ボルトを取り外し、フリーホイール部を交換してください。

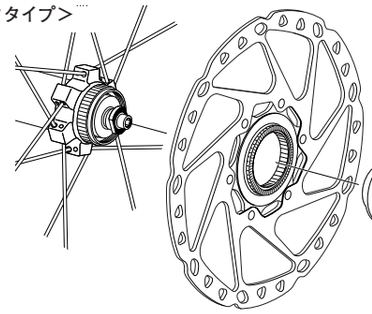
**ご注意：フリーホイール部の分解は、トラブルの原因となりますので行わないでください。**

締め付けトルク：
35 - 50 N·m {350 - 500 kgf·cm}

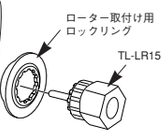



## ローターの取付け

＜センターロックタイプ＞



締め付けトルク：
40 N·m {400 kgf·cm}

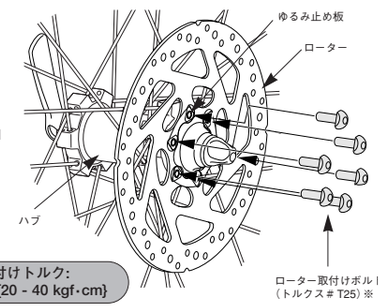



＜6ボルトタイプ＞

ハブにローターとローターゆるみ止め板をセットし、ローター取付けボルトで図1のように仮止めします。

保護手袋をはめて図2のようにローターに時計方向の力を加えながらローター取付けボルトを図の順番に沿って締め付けます。

図1




締め付けトルク：
2 - 4 N·m {20 - 40 kgf·cm}

※ トルクスはカムカー社の登録商標です。

ゆるみ止め板の縁をボルトの頭に沿わせてマイナスドライバー等で図3のように曲げます。

図2

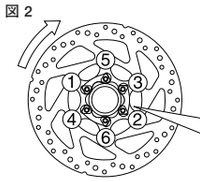
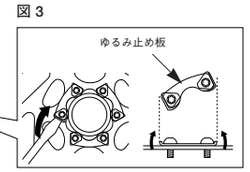



図3




製品改良のため、仕様の一部を予告なく変更することがあります。

お客様相談窓口
☎ 0570-031961　Fax. 072-243-7847

株式会社シマノ
堺市堺区老松町3丁77番地 〒590-8577